

元気の泉

こどもたちに「生きる力」
そして大きな夢と勇気を



第1回 全国環境教育ポスターコンクール



子どもたちが環境について考え、環境への意識を高める機会となることを願い、(財)こども教育支援財団、(財)総合教育研究財団、(財)社会教育財団の3財団共催で、3ブロックの地域(首都圏・近畿・中四国)の小・中・高の学校から作品を募集しました。総数5,812点(638校)の応募があり、各ブロック単位で、一次審査会を行いました。

一次審査会では、宇宙賞3点(小・中・高各1点)、太陽賞3点(小・中・高各1点)、地球賞6点(小・中・高各2点)の作品が選ばれました。

また、(財)こども教育支援財団東京事務局で行われた全国最終審査会では、各ブロックで入賞した宇宙賞の中から、最優秀賞3点、さらに審査員特別賞として2点選ばれました。



応募校数・応募点数

ブロック	小学校		中学校		高校		合計	
	校数	点数	校数	点数	校数	点数	校数	点数
首都圏	139	873	88	729	3	6	230	1,608
近畿	180	1,899	98	1,567	14	87	292	3,553
中四国	75	373	39	273	2	5	116	651
合計	394	3,145	225	2,569	19	98	638	5,812

首都圏ブロック後援

環境省、教育委員会(東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県・品川区・新宿区・世田谷区・港区・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市)

協力

(株)学研エデュケーショナル、IPU・環太平洋大学、愛媛女子短期大学、関西文化芸術学院、東京国際ビジネスカレッジ

審査員(50音順・敬称略)

<全国最優秀賞審査員>

最終審査委員長 川口 順子(参議院議員・元環境大臣・元外務大臣)
 最終審査委員 安藤 忠雄(建築家)
 倉本 聡(脚本家)
 谷口 文章(日本環境教育学会国際交流委員長)
 三浦雄一郎(プロスキーヤー・(社)全国森林レクリエーション協会会長)
 山根 基世(ことばの杜共同発起人)

<首都圏ブロック審査員>

審査委員長 中川 志郎((財)日本動物愛護協会理事長)
 審査委員 泉妻 輝夫(元横浜市立中学校校長)
 岡村 太郎(元千葉市立中学校校長会会長)
 東 宏行(埼玉県立大学准教授)
 平戸美和子((社)日本彫刻会会員)
 三浦惠美里((株)ミウラドルフィンズ代表取締役)

■ 展示会 平成21年11月7日~11月15日

株式会社学研本社ロビーで、入賞作品の展示会を行いました。中国・韓国・ニュージーランドの学校からの協力作品も併せて、合計48点の作品が展示されました。展示作品は、鑑賞していただいた多くの方に環境保全を訴えるものとなりました。



■ 表彰式 平成21年11月8日

株式会社環境学習研究会で、第1回全国環境教育ポスターコンクールの表彰式を開催しました。

開会の挨拶では、三浦雄一郎先生から、ご自身がエベレスト登頂した体験、山頂の酸素が薄い中に身を置くと、いかに酸素が大切であるかを実感したこと等、酸素を作る元となる緑の大切さ、環境保全についてお話いただきました。表彰状授与では、保護者や来賓者の温かい眼差しに見守られながら、子どもたちは緊張しながらも嬉しそうな微笑を浮かべ賞状を受け取りました。そして最優秀賞者の尾田友紀穂さんには、初代環境大臣の川口順子先生から賞状・記念品が贈られました。

川口順子先生から、全入賞者に向けて、森林の保護、動物や植物との共生、温暖化防止、海における環境保全の大切さを、小学生、中学生、高校生からの視点で捉え、よく描けている。今後も環境を大切に未来のためにみんなで努力してほしいという言葉をいただきました。



開会の辞 三浦雄一郎先生



審査・講評 川口順子先生



司会 大橋節子実行委員長



祝辞 増田哲也専務理事



最優秀賞の尾田友紀穂さんと川口順子先生



地球賞受賞 後藤瑞実さん



太陽賞受賞 立花智子さん・地球賞受賞 本柳早季子さん



平戸美和子先生より記念品授与



川口先生より表彰状授与



受賞者代表挨拶 竹内美希さん



栄えある受賞者の皆さん



地球賞受賞 小松彩里さん

🏆 最優秀賞



🌌 宇宙賞



☀️ 太陽賞



☀️ 太陽賞



☀️ 太陽賞



🌍 地球賞



🌍 地球賞



🌍 地球賞



🌍 地球賞



🌍 地球賞



首都圏ブロック
入賞作品